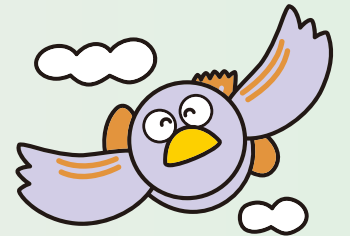


# 奥秩父の花

(春) No.1  
3~5月



埼玉県のマスコット：「コバトン」



**ミツバツツジ** 三葉躑躅 (ツツジ科)  
*Rhododendron dilatatum*

秩父地方では、岩つつじ、紫つつじとも呼ばれ誰からも親しまれ、なじみの深い樹の花。花が咲いてから葉が3枚出ることからその名がある。三峰では特に多く見られる。高さ約2m。



**ハシリドコロ** 走野老 (ナス科)  
*Scopolia japonica*

奥秩父に広く植生し、湿ったガレ場等で多く見られる。猛毒植物の一つで、誤食すると幻覚症状を起こし、苦しくて走り回ることから名がつく。高さ30~60cm。



**チチブドウダン** 秩父灯台・秩父満天星 (ツツジ科)  
*Enkianthus cernuus var. matsudae*

奥秩父の山地、尾根筋でよく見られる。当センター前にもある。サラサドウダンの変種で、チチブドウダンは関東地方が中心で秩父の山地に多いことからチチブの名がつく。高さ1~3m。



**アカバナヒメイワカガミ** 赤花姫岩鏡 (イワウメ科)  
*Schizocodon ilicifolius f. purpurei florus*

岩場の日当たりの良いところに群生して咲く。雲取山から大洞山(飛龍山)の稜線で見られる。イワカガミに似るが葉の形状に特徴があり、イワカガミの円形に対し卵円形である。高さ5~10cm。



**アセビ** 馬酔木 (ツツジ科)  
*Pieris japonica*

山野に普通に見られ、群生していることが多い。有毒植物で馬がこの葉を食べ、酔ってしまったことからこの名がつく。高さ2~9m。



**カタクリ** 片栗 (ユリ科)  
*Erythronium japonicum*

秩父地方には多くの群生地があり、ここ三峰園地内にもある。春を告げる山野草の代表格で春植物(咲き終わり、種をつけると、夏には姿を消す)の一つ。高さ10~20cm。



**タチツボスミレ** 立坪堇 (スミレ科)  
*Viola grypoceras*

スミレの中では最も多く、人家のそばから山の中まで広く分布し、よく見られる。スミレとは花の形が木工道具の墨入れに似ていることからこの名がつく。高さ10~15cm。



**ミヤマキケマン** 深山黄華鬘 (ケシ科)  
*Corydalis pallida var. tenuis*

山の日当たりのよいところで多く見られる。ミヤマ(深山)と名が付くがあまり高い山には生えない。フウロケマンの変種で、近畿地方から東に分布。高さ20~40cm。



**ヒトリシズカ** 一人静 (センリョウ科)  
*Chloranthus japonicus*

山野でよく見られる。花を静御前(源義経の側室)の吉野山での美しい舞に見立てて名があり、清らかなイメージがある。高さ10~20cm。



**フタリシズカ** 二人静 (センリョウ科)  
*Chloranthus serratus*

ヒトリシズカに比べ、大形で花もやや遅くつける。花を静御前(源義経の側室)とその亡霊の二人が舞う姿に見立てて名がある。高さ20~40cm。



**ネコノメソウ** 猫の目草 (ユキノシタ科)  
*Chrysosplenium grayanum*

里山の谷間の低地などの湿ったところに群生する。和名は裂開した果実を屋の猫の目に見立てて名が付く。14種類(日本)のネコノメソウのうち秩父地方には13種類がある。高さ5~20cm。



**ヒゲネワチガイソウ** 髯根輪違草 (ナデシコ科)  
*Pseudostellaria palibiniana*

福島県~中部地方に分布し、山地で見られる。根は数個でひげ根状。西日本のワチガイソウと同種だが、上の葉が二対十字型の輪生になっていることで区別できる。高さ10~20cm。